

JCES ニュース

Japan Comparative Education Society

NO.25

日本比較教育学会第49回大会報告

大会準備委員会委員長 杉村美紀

梅雨明けの猛暑のなか、7月5日～7日に行われました日本比較教育学会第49回大会にあたりましては、会員の皆様のご理解・ご協力を賜りまして心よりお礼申し上げます。お蔭さまで469名のご参加をいただき、9つのラウンドテーブル、170件の自由研究発表、公開シンポジウム「アジアの大学と国際連携」、課題研究Ⅰ「持続可能な社会と若者の参加」、課題研究Ⅱ「正規・非正規教育の接点（グレイゾーン）に関する国際動向」を開催させていただくことができました。公開研究会には約300名のご参加を、また2つの課題研究にも、日曜日午後の開催だったにもかかわらず、最後まで多くのご参加をいただきまして、本当にありがとうございました。本大会には、海外からの参加者も多くお迎えしました。特に台湾比較教育学会からは、王如哲会長はじめ会員が多数参加され、大会終了後の8日には、台湾の大学院生との交流会も開催し、両学会の友好と親睦を深めることができました。また会場には、杉本均会員のご尽力で故小林哲也会員の追悼展（別掲記事）も設けられました。本年、開催校である上智大学は100周年を迎え、本大会も公開シンポジウムを含めて一部を上智大学ならびに上智大学総合人間科学部教育学科と共催で開催させていただき、大学にとりましても意義深い学会となり、開催校を代表しまして重ねて御礼申し上げます。

今大会では、学会への参加・発表登録ならびに要旨提出と閲覧に関しウェブシステムの活用にご協力いただきました。初めての試みでお手数をおかけしたこともあったかと存じお詫び申し上げますが、全体としては、発表希望者の方々の名簿照合の簡素化や、会員以外の方からのお申込みもウェブサイトを通じて多くいただくことができました。

上智聖歌隊の讃美歌によって開会となりました懇親会は、本学教育学科長田中治彦教授の音頭と準備委員会「チームSophia」による賑やかな三三七拍子による締めくくりとなりました。多様性に富む上智の様々な素顔を感じ取っていただけたとしたら幸いです。大会運営には準備委員会の大学院生スタッフ9名のほか、学部学生約80名がボランティアとして参加し、研究発表や交流が活発に展開される雰囲気にも学生たちも多くのことを学ばせていただきました。至らない点も多々あったかと存じますが、学会終了後、ご参加いただいた先生方より、学生たちへの温かなねぎらいの言葉をいろいろとちょうだいし、大きな励みとさせていただいております。皆様のお力添えとさまざまなお縁に支えられて第49回大会を開催させていただきましたことに、大会準備委員会一同あらためまして心より厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



課題研究Ⅰ（7月7日）



課題研究Ⅱ（7月7日）



懇親会での上智聖歌隊（7月6日）



公開シンポジウム・上智大学 100 周年記念事業

第 50 回大会のご案内

大会日時：2014 年 7 月 11 日（金）、12 日（土）、13 日（日）

開催場所：名古屋大学 共通教育棟

大会準備委員会：西野節男，服部美奈，近田政博（他）

連絡先：〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院教育発達科学研究科

日本比較教育学会第 50 回大会実行委員会

e-mail: jces50.nagoya@gmail.com

【元学会長 小林哲也先生 ご逝去のお知らせ】



小林哲也元会長が 2013 年 5 月 1 日にご逝去されました。学者として、教育者として、国際人として、そしてキリスト者として、その生涯を捧げられた 86 年間でした。小林先生は 1961 年比較教育学有志懇談会（谷川山麓）に参加され、1965 年の日本比較教育学会の設立にご尽力されました。1975 年の『日本比較教育学会紀要』第一号の編集委員代表も小林先生でした。理事、常任理事を歴任ののち 1987 年から 89 年まで日本比較教育学会の会長を勤められました。先生はわが国の比較教育学発展の礎を築かれ、その後も長く学会を指導し牽引して下さいました。先生のご冥福をお祈りするとともに、その偉大なご業績を振り返る契機として 7 月 6 日、7 日、第 49 回日本比較教育学会大会(上智大学)会場において追悼の展示をさせていただきました。

（京都大学 杉本均）

平塚賞委員会報告

平塚賞委員会委員長 宮腰 英一

第23回平塚賞の候補作品について、2013年1月15日（必着）締め切りで募集した結果、他薦3点（いずれも単著）の応募がありました。2013年2月17日（日）に広島大学東京オフィスにおいて平塚賞運営委員会を開催し、総合点および各委員による評価に基づき応募作品を審査した結果、佐藤仁会員（福岡大学准教授）の著書『現代米国における教員養成評価制度の研究—アクレディテーションの展開過程—』（2012年12月10日、多賀出版刊）に対して、第23回平塚賞を贈り、顕彰することに決定しました。授賞の理由は以下の通りです。

「米国の教員養成機関のアクレディテーションの1950年代から今日までの展開過程を、関係評価団体の変化と役割を軸にして、丹念に跡づけた点が高く評価できる。豊富な関連文献・資料の収集・分析はもとより、現地で著者自身が実施した実態調査の結果も踏まえて、多面的で精緻な考察がなされている。教育制度研究として完成度の高い作品である。」

第23回平塚賞を受賞して

佐藤 仁（福岡大学）

この度は、拙著『現代米国における教員養成評価制度の研究—アクレディテーションの展開過程—』に対して、歴史ある平塚賞を授与していただき、大変有り難く思っております。ご指導いただきました諸先生・先輩方に深く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

拙著は、米国における教員養成機関のアクレディテーションの現代的変容過程を解明したものです。わが国でも教員養成の質保証が議論される中、拙著を通して教育学示唆を得たいという思いがありました。しかし、米国の実態は簡単にわかることではなく、さらに教員養成を語ることの奥深さや、「教育借用」を意識して比較教育学研究を進めることの困難さなど、多くの学問的課題にぶつかりました。

拙著では、米国の状況について、少しは

その複雑さを解きほぐせたかと思いますが、肝心の教育学的示唆をめぐる議論は不十分でした。今後、この点にしっかり対峙することで、比較教育学への学問的貢献を果たしていきたいと思っております。今後とも、会員の皆様からのご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



■平塚賞運営委員会からのお知らせ

委員長 宮腰 英一

来年度の第24回平塚賞候補作品を例年通り下記の要領で募集します。応募は自薦、他薦を問いません。多くの会員からの応募を期待しています。

1. 対象作品：2013年1月～12月に公刊された比較教育学に関する著書・論文（分担執筆を含む。ただし連名のものを除く）
2. 応募要領：本学会ホームページ掲載の「平塚賞候補著書・論文推薦書」（MS-Word, PDF）に必要事項を記入し、当該著書・論文1部とともに提出すること。
3. 締め切り：2014年1月15日（必着）
4. 送付先：
〒170-0004 東京都豊島区北大塚
3-21-10 アーバン大塚3F
（株）ガリレオ気付
日本比較教育学会・平塚賞運営委員会
委員長 宮腰 英一 宛

■紀要編集委員会からのお知らせ

竹熊 尚夫 (紀要編集委員会委員長)

紀要編集委員会では、現在、第48号紀要の編集作業を行っています。

今回、7月20日締切の自由投稿論文には17件の応募があり、このうち残念ながら5本が形式審査を通過できませんでした。残りの論文については8月現在、査読審査が進められているところです。編集委員会では投稿用のチェックリストの作成を検討していますが、投稿される会員におかれましては、投稿規定を熟読の上、提出物に不備がないかくれぐれもご注意頂き投稿頂けますようお願い致します。第48号の特集には上智大学大会での公開シンポジウムを取り上げさせていただくことになりました。この他、学会課題研究についてのご報告並びに書評、文献紹介を加え、第48号がお手元に届くのは1月になりますが、ご期待いただければ幸いです。

また最近、とある大学・学会において重複投稿問題が起きましたが、本学会でも倫理綱領に則した論文投稿をお願い致します。

次号の第49号は来年の名古屋大学大会時に配布されますが、投稿締切は1月10日(消印有効)です。多くのご投稿をお待ちしています。

■研究委員会報告

研究委員会 杉村 美紀

1. 第49回大会・課題研究Ⅱの開催について

第49回大会における課題研究Ⅱにつきましては、国際交流委員会のご協力のもと、同委員長・杉本均会員(京都大学)を中心に「正規・非正規教育の接点(グレイゾーン)に関する国際動向」を7月7日午後開催いたしました。国際交流委員会および登壇者、司会者の先生のご尽力とご参加いただきました会員の皆様に御礼申し上げます。

2. 学会科研について

学会科研(基盤研究B・海外学術調査)「人の国際移動と多文化社会の変容に関する比較教育研究」では、ヨーロッパ班、アジア班、南米班に分かれて第3年目の活動を行っています。2013年度は、海外調査の他、11月17日(日)に本プロジェクトの目的のひとつである比較教育研究の方法論の検討を、Marc Bray教授(香港大学)、Maria Manzon博士(National Institute of Education, Singapore)ならびに高山敬太博士(University of New England, Australia)を招聘し、Mark Bray & Chad Lykins (2012) *Shadow Education* (Asian Development Bank) <http://www.adb.org/sites/default/files/public/2012/shadow-education.pdf> を共通文献にして研究会を上智大学で開催する予定です。詳細は研究委員会・杉村(miki-s@sophia.ac.jp)までお問い合わせ

わけください。

3. 震災後プロジェクトについて

第49回大会ではラウンドテーブル「災害復興と教育交流」を実施し、「震災復興と持続可能な発展のための教育」をテーマに、「開かれたネットワーク型学習(学び合い)」を軸としたESDと災害復興、国内外の大学における復興支援と国際連携、被災後のコミュニティの再構築と教育の役割といった観点から活動を進めています。

本年7月25日には、政治学者Daniel P. Aldrich博士(Purdue University)を上智大学に招聘し、被災地のコミュニティ復興に関する研究会を開催しました。今後は2014年の学会第50回大会および11月のESD岡山大会での企画を準備する予定です。なお本プロジェクトは日本学術振興会「東日本大震災学術調査」の「地域と絆班」(研究代表・宮腰英一会員・東北大学)との連携のもとに進めています。

■WCCES 報告

大塚 豊

2013年7月23日から28日までブエノスアイレス大学を会場に世界比較教育学会の第15回大会が開かれました。約80か国から千名に上る参加者があり、わが国からも本学会会員を中心に30名余りが参加して、熱のこもった報告や討議が展開されました。



開会式(中央:アルゼンチン文相)

開催中の23日および26日に第46回理事会が開催され、会長・事務局長等からの報告の他、第16回大会を2016年8月中旬に北京で開催することが決定されました。

また、Lee On Wing会長の任期満了に伴い、会長選挙が行われ、私を含む5人の検討委員会から提案された2名(Aaron Benavot, Carlos A. Torres)の候補者に関して、加盟学会代表による無記名投票の結果、UCLAのCarlos A. Torres教授が次期会長に選出されました。



(Carlos A. Torres 新会長 (左))

大会最終日の 28 日に開かれた総会では、理事会での決定事項が報告了承されるとともに、ユネスコへの要望書 (パレスチナの加盟をめぐるイスラエル、米国、カナダ政府による醸金停止可能性の表明への反対) が全会一致で採択されました。

■RICE 作成委員会よりお願い

長島 啓記

RICE 作成委員会では RICE へのデータ入力を鋭意進めておりますが、経費の制約等もあることから、会員の皆様に、ご自身の著作や論文について、学会のウェブサイトから RICE へのデータ入力をお願いする次第です。ご入力の手順ですが、まず、①ウェブサイト

(<http://www.gakkai.ne.jp/jces/>) の「学会の活動」から「RICE」をクリックし、RICE のサイト (<http://jces.sakura.ne.jp/rice/>) へ進んでください。

次に、②RICE のサイトで、「新規文献を RICE に登録する」をクリックしてください。

そして、③「RICE ウェブサイト上から登録」、「データ登録用エクセルシートをダウンロードして登録」のいずれかで、ご入力しやすい方を選択し、データの入力をお願いします (複数件ご入力していた場合は、エクセルシートによる方が簡便と思います)。

ご入力いただいたデータは、確認させていただいた後、更新いたします。

ご不明の点がありましたら、RICE 作成委員会 (ricejces@gmail.com) までお問い合わせください。よろしく願い申し上げます。

■事務局からのお知らせ

●会員名簿を発送いたしました。

7月5日～7日の第49回日本比較教育学会大会の受付時に会員の皆様には名簿冊子をお渡しいたしました。が会場にお越しになれなかった会員様宛にも名簿を送付いたしました。大会会場でお受け取りされていない方、また、現時点、名簿が届かない方、住所変更等、事務局あてにご一報くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

*個人情報ですのでお取り扱いにはご注意ください。

●年会費納入のお願い

年会費を滞納されている方へ納入のお願いと振込用紙を近日中に発送予定です。海外会員様は新しいクレジット支払システムをご利用できるようになっております。詳しくは学会 HP をご覧ください。

なお、ご卒業、ご異動などにより住所不明になられ、請求書やご案内が届かない会員様が増えております。請求書が届かないため滞納にお気づきになられず強制退会になってしまうこともございます。

ご住所・所属先の変更、登録情報・会費納入状況の確認・更新は会員様ご自身でできます。

学会 HP のトップページに**会員情報管理システム (SOLTI)** へのリンクがありますのでご確認ください。ログイン時の ID とパスワードがご不明の場合は事務局へお問い合わせください。

ID とは諸送付物のラベルに記載されております「会員番号」のことです。

納入状況を必ずご確認ください。未納分がある方はお早目の納入にご協力をお願い致します。会費は通常会員 10,000 円、学生会員 6,000 円です。紀要は年 2 回発行ですが、本学会では当該年度の会費納入を確認後、学会紀要『比較教育学研究』をお送りしています。**3年を超えて会費未納の方は会員資格を失います。**

〔郵便振替口座〕 00820-6-16161

日本比較教育学会事務局

〔銀行口座〕 広島銀行西条南支店

普通 3126345

日本比較教育学会 一般

※所属機関からの振り込みの場合もご一報下さい。大学名にてお振り込みがあっても会員名がわからず未納となっているケースが見受けられます。

<会員種別変更に関しまして>

※大学院を修了されてもまだ学生会員のままの登録の方がいらっしゃいます。

会員種別の変更はご自身ではできませんので必ず事務局へご一報ください。後に会員種別が変更となった場合過去年度分まで遡って差額のお支払をお願いすることもあり、少し複雑になる場合もございますので学生の方が大学院修了やご就職なされた場合はできるだけお早目にお知らせください。

日本比較教育学会事務局

〒170-0004 東京都豊島区北大塚 3-21-10 アーバン大塚 3F

(株) ガリレオ 学会業務情報化センター内

Tel : 03-5907-3750 Fax : 03-5907-6364

E-mail: g020jces-mng@ml.gakkai.ne.jp

●新入会員リスト

(2013年2月～9月、入会申込み順)
 羅明坤 (西南女学院大学)
 加藤由里子 (お茶の水女子大学院生)
 間篠剛留 (慶應義塾大学院生)
 史媛媛 (九州大学院生)
 陳志華 (中央大学院生)
 吉永契一郎 (東京農工大学)
 小山祥子 (駒沢女子短期大学)
 島埜内恵 (筑波大学院生)
 吉川永 (埼玉県立大宮中央高等学校)
 樋口謙一郎 (椙山女学園大学)
 洞庭佳江 (東北大学院生)
 Eduardo Velez Bustillo (神戸大学大学院)
 Vangchue Vangxaolee (神戸大学院生)
 Vixay Chanthasone (神戸大学院生)
 Sengsouliya Chanthanakhone (神戸大学院生)
 Elmira Ibraeva (神戸大学院生)
 Viriyasack Sisouphanthong (神戸大学院生)
 矢野晶太郎 (東京工業大学院生)
 劉雯 (日本工業大学)
 張玲 (名古屋大学院生)
 邵姜魏 (早稲田大学院生)
 加藤敬之 (名古屋大学院生)
 白雪花 (東京女学館大学)
 大角文香 (神戸大学院生)
 大橋奈津美 (神戸大学院生)
 五島由加里 (神戸大学院生)
 松浦竜介 (神戸大学院生)
 朴正美 (神戸大学院生)
 加藤靖子 (東京大学院生)
 井場麻美 (東北大学院生)
 安岡亜寿香 (神戸大学院生)
 前川千絵 (神戸大学院生)
 徐輝 (大東文化大学院生)
 孫雪熒 (九州大学院生)
 Annette Claire Bradford (George Washington University)
 大澤亜希 (名古屋大学院生)
 柿沼久美子 (広島大学院生)
 川畑守正 (鳴門教育大学院生)
 石善雨 (東京大学院生)
 小野康子 (長崎大学)
 中和渚 (東京未来大学)
 星野晶成 (名古屋大学)
 赤井秀行 (鳴門教育大学院生)
 末岡加奈子 (大阪大学院生)
 日下智志 (株式会社日本開発サービス)
 杉浦絵里 (明治大学国際連携部国際教育事務局)
 阿久根佐和子 (日本大学大学院)
 野元弘幸 (首都大学東京)

2013年9月1日現在 会員数 992名

●学会への寄贈図書紹介

以下の図書を、著者・出版社より本学会にご寄贈いただきました。厚く御礼を申し上げます。なお、紀要および研究報告書の寄贈については、数量多数のため、掲載を割愛させていただきます。ご了承下さい。

- ・明石要一・岩崎久美子・金藤ふゆ子・小林純子・土屋隆裕・錦織嘉子・結城光夫著『児童の放課後活動の国際比較—ドイツ・イギリス・フランス・韓国・日本の最新事情』福村出版、2012年。
- ・国立教育政策研究所編『教育研究とエビデンス—国際的動向と日本の現状と課題』明石書店、2012年。
- ・志水宏吉・山本ベバリーアン・鍛冶致・ハヤシザキカズヒコ編著『「往還する人々」の教育戦略—グローバル社会を生きる家族と公教育の課題—』明石書店、2013年。
- ・山田肖子・森下稔編著『比較教育学の地平を拓く—多様な学問観と知の共働』東信堂、2013年。
- ・OECD 教育研究革新センター編、立田慶裕・平沢安政監訳『学習の本質—研究の活用から実践へ』明石書店、2013年。
- ・森田尚人・森田伸子編著『教育思想史で読む現代教育』勁草書房、2013年。
- ・馬越徹・大塚豊編著『アジアの中等教育改革—グローバル化への対応』東信堂、2013年。
- ・河合塾編著『「深い学び」につながるアクティブラーニング—全国大学の学科調査報告とカリキュラム設計の課題』東信堂、2013年。
- ・金子元久著『大学教育の再構築—学生を成長させる大学へ』玉川大学出版部、2013年。
- ・フィリップ・G. アルトバック・ホルヘ・バラン編著、米澤章純監訳『新興国家の世界水準大学戦略—世界水準をめざすアジア・中南米と日本—』東信堂、2013年。
- ・Sue Fostaty Young・Robert J. Wilson 著、土持ゲーリー法一監訳、小野恵子訳『「主体的学び」につなげる評価と学習方法—カナダで実践される ICE モデル—』東信堂、2013年。
- ・村田翼夫・上田学編著『現代日本の教育課題—21世紀の方向性を探る』東信堂、2013年。
- ・松尾知明編著『多文化教育をデザインする—移民時代のモデル構築—』勁草書房、2013年。
- ・国立教育政策研究所編『TIMSS2011 理科教育の国際比較—国際数学・理科教育動向調査の2011年調査報告書』明石書店、2013年。
- ・国立教育政策研究所編『TIMSS2011 算数・数学教育の国際比較—国際数学・理科教育動向調査の2011年調査報告書』明石書店、2013年。

日本比較教育学会事務局

E-mail g020jces-mng@ml.gakkai.ne.jp